

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンター虹 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年1月10日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 40人
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事を通していろいろな経験をすることができる。	2カ月に1度行事を行っています。また、行事のない月は土曜日に小集団の活動を取り入れたり、学校休業日にも外出行事を取り入れたりしています。	土曜日に行事を行うことが多く、参加できない方もいるため学校休業日などにも行事を取り入れていきます。
2	幅広い学年や様々な学校の児童とふれあうことができる。また、1階と2階の部屋を、使い分けることができる。	他学年との関わることで、日常生活に必要なスキルやコミュニケーションを真似して習得したり、思いやりを持って相手と関われるようにしています。また、状況に応じて部屋を使い分けています。	児発的にコミュニケーションをとれるように自信に繋げていく。また、場面毎にどのような言動をしていくのか一緒に考えながら練習していきます。
3	利用者との友好的な関係を築くことができている。	利用者の特性に合わせて対応をしています。また、利用者本人の「やりたい」という気持ちを大切にしながら活動や行事の内容を考えています。	1度決めた活動が固定化してしまうこともあるため、様々な活動を考えていきます。また、今後も利用者の気持ちを優先しながら対応していき、信頼関係を築いていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースは広いが、一人一人の特性などを配慮するには個室の数が少ない。	構造化が行き届いていない所がある。職員が学校送迎に出る時など職員数が少なくなり、配慮できない部分がある。	パーテーションなどの仕切りや1階と2階を使用していきます。今後も引き続き、利用者に合わせて構造化をしていきます。
2	各マニュアルが周知されていない。	全職員でマニュアルを確認する機会を設けていませんでした。	各マニュアルを確認する時間を定期的につくり、全職員で対応できるようにしていきます。
3	地域との関わりが少ない。	行事で公共施設や公園などを利用することはあるが、地域のイベントや交流の機会は少ないです。また、ご家族に活動の様子を見学してもらう機会が少ないです。	今後、活動内容を検討する際には地域との関わりも視野に入れています。また、散歩の時などにゴミ拾いの活動も取り入れ、地域貢献を目指します。